

SeeSew

時間のきもの プロジェクト

私たちは「時間」を日々、着ている

SeeSewが「きもの」を選んだのには理由があります。

日本の民族衣裳とも言えるきもの柄には、四季に因んだ模様が多くみられます。

それは日本人が古より自然の変化に寄り添って生活する中で、

「時間」を模様や色彩の組み合わせで身に纏う感性が生まれたからだと思います。

SeeSewは、これまでのきものとは異なる方法で、きものの中に「時間」を表そうと試みました。

日光写真の一種である、サイアノタイプという古典技法を使い、

植物の陰を反物に直接撮影して、「時間の模様」を写し取りました。

きものは、幅36cm、長さ一反(約12m)の生地を余すところなく使って仕立てられています。

つまり、布に写し取られた「時間」のほぼすべてを身に纏うことができます。

こうして、春、夏、秋の「時間」を生地に定着させた反物から「時間の着物」を仕立てます。



SeeSew:2014年に結成した、写真作家・浅見俊哉と衣裳家・田村香織のアーティストユニット。写真作家と衣裳家の視点を生かしたワークショップの開催やプロダクトを提案している。
<http://seesew2014.wix.com/seesew>

今回制作された「時間のきもの」を身に纏い、
四季の「時間」をテーマにしたダンスパフォーマンスを、
舞踊家・黒田なつ子、幅田彩加、音楽家・松本一哉が、
夏と秋に繰り広げます。

「時間」がおどる-夏-

春と夏に撮影された「時間のきもの」を身に纏い、
夏の夕刻にパフォーマンスを繰り広げる。

「時間」がおどる-秋-

春と夏と秋に撮影された「時間のきもの」を身に纏い、
落ち葉が舞う中で繰り広げる。

「時間」がおどる-夏-

2015年8月16日(日) 15:00-16:00

北浦和公園 雨天時23日(日)

「時間」がおどる-秋-

2015年11月8日(日) 12:00-13:00

別所沼公園 雨天時は別所沼会館大会議室

SeeSew 時間のきものプロジェクト

SeeSewが考える「時間」について

改めて「時間」について考えてみると、例えば1日の時間とは、1日24時間という抽象的な概念ではなく、陽が昇り、沈むという地球の自転に伴う具体的な「変化」の現れであることに気づきます。花を咲かせては散り、葉を茂らせては落葉し、再生を誘う植物の時間。風雪に耐えた木肌や幹の太さ(年輪)には、畏怖の念すら感じることもあります。

わたしたち自身も、成長期には背が伸び、高齢期には背が縮んだり、皮膚が次第に趣を深めていきます。そう考えると、わたしたちは身体の内にも外にも、さまざまな「時間」を着ながら生きていくことに気づきます。

年間スケジュール

春の時間を布に写そう!

「時間のきもの公開制作」

2015年4月4日(土)・4月5日(日) 両日とも12:00-16:00

別所沼公園

満開の春の桜を着物の反物に撮影するプロセスを公開しました。

秋の時間を布に写そう!

「時間のきもの公開制作+秋のフォトグラムワークショップ」

2015年10月3日(土) 13:00-15:00

別所沼公園 集合場所:ヒアシンスハウス前

着物の反物に撮影するプロセスを公開するとともに、参加者の皆さんと、秋の時間をハンカチサイズの布に撮影するワークショップです。

夏の時間を布に写そう!

「時間のきもの公開制作+夏のフォトグラムワークショップ」

2015年7月12日(日) 13:00-15:00

北浦和公園 集合場所:埼玉県立近代美術館前

着物の反物に撮影するプロセスを公開するとともに、参加者の皆さんと、夏の時間をハンカチサイズの布に撮影するワークショップです。

「SeeSew 時間のきものプロジェクト」年間活動報告展示会

2015年11月28日(土)・29日(日) 両日とも13:00-19:00

KAPL(コシガヤアートポイント・ラボ)

〒343-0026 埼玉県越谷市北越谷5-9-27

<http://kapl62.wix.com/kapl>

SeeSewメンバー紹介



浅見俊哉 Shunya Asami

1982年東京都葛飾区生まれ。2004年より「時間」と「記憶」をテーマに写真作品を制作し始める。2006年～2009年、「越谷を美術館にしよう!まちアートプロジェクト」運営。2008年、アートスペースKAPL(コシガヤアートポイント・ラボ)を設立。2009年よりSMF(サイタマミュージアムフォーラム)協力委員。

制作者から鑑賞者への一方のアートではなく、作品を通して相互に関わり合いの持てる「場」や「時間」をつくりたいと活動する。2008年に「人・アート・地域の関わりを生みだすスペース」KAPL(コシガヤアートポイント・ラボ)を埼玉県越谷市に設立。代表を務め「アートでできること」を日々、模索する。

代表作は、ヒロシマの被爆樹木の影を写した『呼吸する影—被爆樹 木のフォトグラム—』、水面に石を投げ入れ生じる波紋を記録した『またたき』など。作品制作の他に、美術教育の視点や方法論を応用した造形ワークショップ、アートプロジェクトなどのフィールドワークも活発に展開。感光紙を用いて、身近な影を探して写し取る「影をつかまえる」、全身の影を撮影する「MAN-PRINT」などの写真ワークショップなどを全国各地で実施している。

<http://asa19821206.wix.com/shunya-asami>



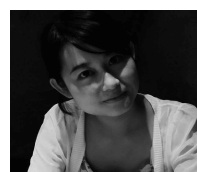
田村香織 Kaori Tamura

パタンナー・衣装家。東京生まれ。筑波大学芸術専門学群構成専攻総合造形分野卒。京都料理屋厨房を経てアパレル企業パタンナーとして勤務。傍らで舞台衣装を中心とした一点ものの衣服「HAReGI」を作る。着る人のこころからだをハレにする作り手の見える服作りを試みている。また、Re【アールイー】という名前で製作で生じる残布からより身近な品品を作っている。

<http://tmr-kaori.jimdo.com/>

「時間のきもの」仕立て:田村香織、服部奈々/制作マネジメント:小宮貴史(KAPL)

ダンスパフォーマンス出演者紹介



黒田なつ子 Natsuko Kuroda

振付家・ダンサー。2009年筑波大学卒業。その後、梅田宏明のダンサー、アシスタントとして国内外にて活動。また、井田亜彩美・黒田なつ子のduoとしても活動の幅を広げ、富山県知事賞、YOKOHAMA DANCE COLLECTION 09 Final選出、ネクストリーム21 優秀賞、ダンスクリエーションアワード2位獲得。2012年「the International Festival of Modern Choreography in Vitebsk, Belarus(IFMC)」にて優勝。また、2015年、ドイツで行われたfulldome festivalで、飯田将茂作、自身が振付で関わった映像作品『fermentation』が、特別賞(AWARD for Use of Innovative Production Technologies)を受賞。斬新なドーム映像として高く評価され、振付やダンスの内容についても好評を得た。現在、昨年立ち上げた、梅田宏明のプロジェクトである、Somatic Field Projectを主に活動の幅を広げている。

<http://ameblo.jp/natsuko-kuroda/>



幅田彩加 Ayaka Habata

舞踊家・振付家。幼少より現代舞踊を黒沢輝夫、下田栄子に師事。ジュニア期に東京新聞主催全国舞踊コンクールをはじめとする3大会で第1位受賞。2011年、埼玉全国舞踊コンクールをはじめとする3大会のシニア部門で第1位受賞。平成23年度文化庁新進芸術家在外研修員として2年間NYにて研鑽を積む。2014年ダンスがみたい!新人シリーズにてオーディエンス賞受賞。International Modern Choreography Festival 2014にてグランプリ受賞。筑波大学大学院人間総合科学研究科舞踊コース博士前期課程修了。筑波大学学長賞受賞。現在、筑波大学ダンス部非常勤コーチ。東京芸術大学非常勤講師。

<http://ayaka-addcolor.com>

音楽



松本一哉 Kazuya Matsumoto

音楽家・振付家。幼少より現代舞踊を黒沢輝夫、下田栄子に師事。ジュニア期に東京新聞主催全国舞踊コンクールをはじめとする3大会で第1位受賞。2011年、埼玉全国舞踊コンクールをはじめとする3大会のシニア部門で第1位受賞。平成23年度文化庁新進芸術家在外研修員として2年間NYにて研鑽を積む。2014年ダンスがみたい!新人シリーズにてオーディエンス賞受賞。International Modern Choreography Festival 2014にてグランプリ受賞。筑波大学大学院人間総合科学研究科舞踊コース博士前期課程修了。筑波大学学長賞受賞。現在、筑波大学ダンス部非常勤コーチ。東京芸術大学非常勤講師。

<http://www.horhythm.com/> <http://m.soundcloud.com/kazuya-matsumoto>